

# 第85回企画展

# 馬と農民

ぬかのぶのしゅんめ なんぶこま  
～「糠部駿馬」「南部駒」と農家との関わり～



南部片富士麓の原は  
西も東も馬ばかり

南部馬方節



令和3年3月3日(水)～6月30日(水)

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

古来より東北北部は駿馬（名馬）の産地で、この地で産した馬は「糠部駿馬」「南部駒」として全国に知られていました。

馬は武士の戦いの武具として、また農耕・運搬のための農具・道具ともなり、特に農民にとっては、農作業や山仕事などの労働力として、産まれた仔馬は貴重な現金収入源として、農家の生活を様々な形で支えてきました。

そのため、農民は馬を生活を共にする家族の一員として特別な愛情を持ち、その思いが「南部曲り家」という建築様式を生み出しました。また、県内各地には馬神を祀る駒形神社が数多く存在し、初夏には全国最大規模といわれる農用馬の祭典「チャグチャグ馬コ」が開催され、馬に対する感謝と愛情を今でも見ることができます。

今回の企画展では、今では日常生活の中で接する機会が少なくなった「糠部駿馬」「南部駒」の歩みを振り返るとともに、農民との関わりについても紹介します。



南部曲り家



忍び駒



整地機（ごろ）



馬鋤（まんが）



刈取った稲を運ぶ馬



和 犁

## 岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

北上市飯豊 3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)

入館料／一般300円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)があります。

障害者手帳などの交付を受けている方及び介護サービス事業などで入館される場合は、入館料が無料になります。

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台